

# 製品取扱説明書

---

None

*Your Company Name*

*Your Company Name*

# 目次

---

1. 製品取扱説明書	3
1.1 目次	3
2. はじめに	4
2.1 製品概要	4
2.2 主な機能	4
2.3 対象ユーザー	4
3. インストール	5
3.1 システム要件	5
3.2 手順 (Windows)	5
3.3 手順 (macOS)	5
4. 基本的な使い方	6
4.1 起動方法	6
4.2 画面構成	6
4.3 最初のプロジェクト作成	6
5. 設定	7
5.1 プロファイル設定	7
5.2 アプリケーション設定	7
6. トラブルシューティング	8
6.1 起動しない場合	8
6.2 "Error 500" が表示される	8
6.3 ログの場所	8
7. ライセンス情報	9
7.1 使用ライブラリー一覧	9
7.2 各ライセンスの概要	9

# 1. 製品取扱説明書

---

ようこそ、製品取扱説明書へ。

このドキュメントでは、製品の概要から基本的な使い方、高度な設定方法、トラブルシューティングまで、幅広く解説します。

## 1.1 目次

---

- 1. [はじめに](#)
- 2. [インストール](#)
- 3. [基本的な使い方](#)
- 4. [設定](#)
- 5. [トラブルシューティング](#)

---

注意: このドキュメントは更新される可能性があります。最新の情報については、[Webサイト](#)をご確認ください。

## 2. はじめに

### 2.1 製品概要

本製品は、日常の業務を効率化するための革新的なツールです。直感的なインターフェースと強力な機能を兼ね備え、初心者からプロフェッショナルまで幅広くご利用いただけます。

### 2.2 主な機能

- 高速な処理: 最新のアルゴリズムにより、従来比2倍の速度を実現。
- クラウド連携: どこからでもデータにアクセス可能。
- セキュリティ: 堅牢な暗号化技術でデータを保護。

### 2.3 対象ユーザー

- 効率的に業務を進めたい方
- チームでのコラボレーションを重視する方

## 3. インストール

---

製品を利用するためのインストール手順を説明します。

### 3.1 システム要件

---

- **OS:** Windows 10/11, macOS 12+, Linux
- **メモリ:** 4GB以上 (8GB推奨)
- **ストレージ:** 1GB以上の空き容量

### 3.2 手順 (Windows)

---

1. インストーラーを公式サイトからダウンロードします。
2. `ProductSetup.exe` をダブルクリックして起動します。
3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. インストール完了後、再起動してください。

### 3.3 手順 (macOS)

---

1. `.dmg` ファイルをダウンロードします。
2. ファイルを開き、アイコンをアプリケーションフォルダにドラッグします。
3. 初回起動時にセキュリティ警告が出る場合がありますが、「開く」を選択してください。

## 4. 基本的な使い方

### 4.1 起動方法

デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから製品を選択して起動します。

### 4.2 画面構成

#### 4.2.1 メイン画面

- ヘッダー: メニューや検索バーがあります。
- サイドバー: プロジェクトやフォルダのツリー表示。
- ワークスペース: 作業を行う主要なエリア。



### 4.3 最初のプロジェクト作成

1. 「新規作成」ボタンをクリックします。
2. プロジェクト名を入力します。
3. テンプレートを選択し、「作成」を押します。



セント

ショートカットキー **Ctrl + N** でも新規作成が可能です。

## 5. 設定

---

製品の動作をカスタマイズするための設定について解説します。

### 5.1 プロファイル設定

---

ユーザー名やアイコンを変更できます。 **設定 > ユーザー設定** からアクセスしてください。

### 5.2 アプリケーション設定

---

#### 5.2.1 テーマ変更

---

ライトモードとダークモードを切り替えられます。デフォルトはシステム設定に従います。

#### 5.2.2 言語設定

---

UIの表示言語を変更できます。現在は日本語と英語に対応しています。

#### 5.2.3 通知設定

---

- メール通知: 重要な更新をメールで受け取るかどうか。
- デスクトップ通知: タスク完了時に通知を表示するかどうか。

## 6. トラブルシューティング

---

よくある問題とその解決方法をまとめました。

### 6.1 起動しない場合

---

- システム要件を満たしているか確認してください。
- ウイルス対策ソフトが干渉していないか確認してください。
- 再度インストールを試みてください。

### 6.2 "Error 500" が表示される

---

サーバーとの通信エラーです。

1. インターネット接続を確認してください。
2. しばらく待ってから再試行してください。
3. それでも解決しない場合はサポートにお問い合わせください。

### 6.3 ログの場所

---

問題解決のためにログファイルが必要になる場合があります。

- Windows: %APPDATA%\Product\logs
- macOS: ~/Library/Logs/Product



## 7. ライセンス情報

本ドキュメント生成システムで使用されているオープンソースソフトウェアのライセンス情報は以下の通りです。

### 7.1 使用ライブラリー一覧

コンポーネント	バージョン (目安)	ライセンス	プロジェクトURL
<b>MkDocs</b>	1.5+	BSD 2-Clause	<a href="https://www.mkdocs.org/">https://www.mkdocs.org/</a>
<b>Material for MkDocs</b>	9.5+	MIT	<a href="https://squidfunk.github.io/mkdocs-material/">https://squidfunk.github.io/mkdocs-material/</a>
<b>mkdocs-with-pdf</b>	0.9.3+	MIT	<a href="https://github.com/orzklv/mkdocs-with-pdf">https://github.com/orzklv/mkdocs-with-pdf</a>
<b>WeasyPrint</b>	60.0+	BSD 3-Clause	<a href="https://weasyprint.org/">https://weasyprint.org/</a>
<b>GTK+ (GTK3)</b>	3.x	LGPL 2.1	<a href="https://www.gtk.org/">https://www.gtk.org/</a>
<b>qrcode</b>	7.x	BSD 3-Clause	<a href="https://github.com/lincolnloop/python-qrcode">https://github.com/lincolnloop/python-qrcode</a>

### 7.2 各ライセンスの概要

#### 7.2.1 BSD 2-Clause / 3-Clause License

著作権表示とライセンス条項の維持を条件に、商用利用、修正、配布が許可されています。

#### 7.2.2 MIT License

著作権表示とライセンス条項の維持を条件に、商用利用、修正、配布、サブライセンス等が許可されています。非常に制限の緩いライセンスです。

#### 7.2.3 LGPL (GNU Lesser General Public License)

主にライブラリとして動的にリンクして使用する場合（今回のGTK+の使用形態）、アプリケーション自体のソースコード公開義務は発生しません。ただし、ライブラリ自体を修正して再配布する場合などはLGPLの条項に従う必要があります。

本ページの情報は法的助言ではありません。各ライセンスの正確な条項については、それぞれの公式ドキュメントを参照してください。



<https://example.com/v1.3>